

令和6年度鳥取市立高草中学校CHA³プログラムへ協力

- 1 日時 令和6年11月7日(木) 8:45~11:40
- 2 場所 鳥取市立高草中学校体育館
- 3 参加者 高草中学校2年生、鳥取県経済同友会東部地区会員企業社員、
地域の方、鳥取大学の学生
- 4 内容

「CHA³プログラム」とは、「ふるさとキャリア教育」を基軸とした鳥取県の人材育成事業で、子どもたちが地域の「人」との関わりの中で、自分の生き方を見つけるとともに、「ふるさと鳥取県」に誇りと希望を持った人生を送れることを意図したものです。

未来の人材育成委員会担当の本年7月例会で、鳥取県教育委員会から、「CHA³プログラム」の説明と鳥取県経済同友会東部地区に同プログラム実施のため若手社員を出していただけないかと協力依頼がありました。田淵委員長の協力意向のもと、東部地区として、会員企業に社員参加を呼び掛けたところ、9社から若手社員26名を出していただきました。

若手社員の話は、中学生にとって歳が近く近未来を描きやすいことを意図したものです。

当日は、鳥取市立高草中学校で中学2年生79名、大人47名の参加により、「CHA³プログラム」が実践されま

した。まず、中学生が加わる前に、参加した大人を対象に鳥取県教育委員会の担当者から、プログラムの目的、上下関係のない対等な立場での会話、お説教は駄目等の説明があり、グループに分かれて「自己紹介」等を模擬実施しました。

続いて、中学生が体育館に入場し、大人、中学生を合わせて5~7人の21グループに分かれて、本番となりました。

アイスブレイクで、「自己紹介、部活、子どものころのヒーロー・ヒロイン」について、各自が紹介しあううちに徐々に緊張もほぐれ、笑い声も聞かれるようになりました。続いて、「今年になって「ありがとう」と言われたことは?」、「住んでいる地域のいいところ、



【意見交換の様子】



【参加者全員で集合写真】

すごいなあと思うところは?」、「10年後の自分は何をしていると思うか」などについて休憩を挟んでグループメンバーも一度チェンジをして行われました。最後に、「心に残った言葉」、「印象に残ったこと」、「CHA³トークの感想」、「グループで話して感じたこと」を話し合っただけで終了しました。

教頭先生は、「生徒が働くこと、近い将来の自分のことを考えるいい機会になっている」と言っておられました。

一方、参加した若手社員も中学生と話が出来ていい刺激になったようで、中学生、大人ともにメリットのあった取り組みでした。